

日本天文学会理事会 議事録

日時：2000年7月8日(土) 13時00分～16時30分

場所：国立天文台 会議室

出席者：尾崎，家，小山，柴田，大石，立松，
紀伊，吉川，上野，沢，大谷，山岡，橋本（出席者13名）

欠席者：有本，牧島

他に，原事務長と東条次期事務長が参加した。
議事に先立ち，署名人を選出した
議長：尾崎洋二
署名人：柴田一成，大石雅寿

議事の経過及び結果

1. 前回（2000年4月5日）の理事会議事録が報告され，承認された。また，5月27日に実務理事会が開催されたことが報告された。実務理事会で議論された「別姓使用のお願い」については，42研究機関に送付され，9月号の天文月報に掲載される予定である。
2. 2001年度事業計画案が大石庶務理事より報告され，承認された。また，2001年度の収支予算案が立松会計理事より報告された。一般会計書が分かりにくいことについて議論が集中し，特に，一般会計の「予備費」が見かけ上負になっていることに関し，多くの意見交換がなされた。評議員会へは原案を提出するが，会計理事に補足説明資料を作成して説明してもらうこととした。収支案に関連して，PASJへの一般投稿論文の出版が遅い原因が予算上の制約ではないかと大石庶務理事が質問したが，立松会計理事より，原因は編集作業に携わるマンパワー不足であるとの回答があった。また同理事より，予算上の制約で掲載時期が大幅遅れるのは学会の利益に反するので8月に開催予定の編集委員会において，ある程度のフレキシビリティをもってページ増に対応していただいかまわらないことを説明すること，2000年度に関しては刊行補助金が予算よりも多かったのである程度のページ増に対応できなくはないこと，号あたりの論文数に関しては編集部の作業量も考慮しつつ判断する必要があること，が述べられた。8月のPASJ編集会議での議論を待って，理事会として予算面も含めてサポートできることがあればしていくことを確認した。また，本日時点で1/3の会員が会費未納であることを重視し，会計理事が中心となって対策を考えることを確認した。
3. 2001-2002年度の役員（理事・監事），選挙管理委員，林忠四郎賞選考委員の各候補者が大石庶務理事より提示され，原案通り承認された。
4. 2001-2002年度の各委員会委員候補が大石庶務理事より提示され，意見交換の後原案通り承認された。
5. 新入正会員の名簿が大石庶務理事より示され，43名の入会が承認された。
6. PASJを出版・販売委託しているUAPとの契約を12月31日で終結させ，2001年度からは，出版はPLAIN，販売は丸善にお願いすることになった経緯が大石庶務理事から報告された。また，EPASJのサーバーは，理研から天文学会事務室内に移設し，編集委員会が維持管理をすることとなった。理事会としてこの方針を了承したが，PLAINへの移行手順と編集委員会の体制の整備について万全を期すようにとの要望があった。
7. 2000年度秋季年会（伊勢崎市）の準備状況について，橋本理事から報告があった。講演申し込み数は約430であり，年会は8セッションとなる。ポスター会場は伊勢崎東高校の体育館となる。懇親会には群馬県知事の挨拶が予定されている。公開講演会は，佐藤文隆氏と海部宣男氏にお願いすることになっている。
8. その他

(1) 山岡理事より、天体発見賞選考委員会で検討を重ねている「天文功労賞（仮称）」の草案について説明があった。アマチュア天文家による継続的な観測・啓蒙活動を称賛し奨励することが目的である。意見交換の後、たたき台として評議員会に提出することとした。

(2) 第18期宇宙空間研連委員候補3名および地球物理研連委員会惑星科学専門委員へのオブザーバー1名の推薦要請が来ているので、候補の選考は理事長・副理事長に一任することとした。関連して、第18期日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会委員の選出法について家専門委員会委員長より報告説明があった。

(3) 第18期日本学術会議への天文学会からの会員として池内了氏が正式決定されたとの報告が大石庶務理事からあった。

(4) 倒産した広告代理店の廣和堂の清算処理が終了し、学会が持っていた債権（16万2000円）の約5%にあたる8133円が回収できることとなった。残額は債権放棄することになる。

(5) 教材委員会からの報告書を大石庶務理事が紹介した。

(6) JCB自動引き落とし用紙を会費未納者に送付したところ、78名が自動引き落としを利用することになった。

(7) 五島プラネタリウムの閉館に際し、学会から感謝状を贈呈することが了承され、秋の総会で贈呈することとなった。

(8) 7月20日から始まる国立天文台三鷹キャンパスの常時公開で設置される展示室で「すばる望遠鏡完成絵葉書」や「星座早見版」を、天文学振興財団に委託して販売することとなったことが大石庶務理事より報告された。当面の間、委託販売料は無料である。

(9) 天文学会事務室のテープ保管庫への引越は8月29日(火)と決まった。

(10) 次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。

理事会 : 2000年10月7日(土)

評議員会 : 2000年10月6日(金)

2000年8月22日

議長 尾崎洋二 印
署名人 柴田一成 印
署名人 大石雅寿 印

第18期日本学術会議天文学研究連絡委員会

および天文学国際共同観測専門委員会・委員候補者名簿

第17期天文研連委員長：池内 了

第18期天文研連委員候補者として、第17期研連での申し合わせに則り、日本天文学会選挙管理委員会による投票結果に基づき、以下の21名の方々を日本学術会議に推薦いたしましたので、お知らせします。

(天文研連委員候補者) 敬称略、アイウエオ順

家 正則、池内 了、磯部珂三、井上 一、井上 允、岡村定矩、
奥村幸子、海部宣男、加藤万里子、小杉健郎、小山勝二、佐藤修二、
柴田一成、谷口義明、野本憲一、長谷川哲夫、福井康雄、福島登志夫、
牧島一夫、松田卓也、観山正見

上記委員の内、学術会議会員として池内 了、IAU役員として副会長の海部宣男、分科会委員長の磯部珂三、岡村定矩、の4氏は選挙によらずに、自動的に委員となって頂く方々です。

また、天文学国際共同観測専門委員会は、第17期での専門委員会の申し合わせに則り、専門委員会からの推薦と天文研連との話し合いによって人選し、以下の16名の方々を日本学術会議に推薦いたしました。

(専門委員会委員候補者) 敬称略、アイウエオ順

家 正則, 一本 潔, 稲谷順司, 井上 一, 井上 允, 川邊良平,
北井礼三郎, 高橋典嗣, 高崎史彦, 田中培生, 手島政廣, 戸田 誠,
中川貴雄, 福井康雄, 森 秀雄, 湯元清文

[天文学会ホームページに戻る](#)